

手足口病 流行警報！！

和歌山市感染症発生動向調査において、令和3年第47週（11/22～28）の手足口病の定点あたり患者数が7.11となり、流行警報レベルの基準値5.0を超えました。一週間の定点あたりの報告数が5.0に達した場合に警報を発令し、2.0を下回るまで継続します。

例年、手足口病は夏季に流行するウイルス感染症でしたが、2021年9月以降、全国で徐々に増加傾向となっており、特に西日本において流行警報が多く発令しています。11月に入り、和歌山市内でも増加し、季節外れの流行をみせています。

本疾患はコクサッキーA16（CA16）、CA6、エンテロウイルス71（EV71）などのエンテロウイルスが原因の感染症です。基本的に予後は良好な疾患ですが、急性髄膜炎の合併が時に見られ、稀に急性脳炎を生ずることもあります。現時点では市内で流行している病原体は特定されていませんが、なかでもEV71は中枢神経系合併症の発生率が他のウイルスより高いことが知られています。重症例がみられた場合は、和歌山市保健所まで情報提供をお願いします。

また、接触感染対策としての手洗いや手指衛生といった基本的な対策をご指導いただくとともに、今後のサーベイランスの動向にご留意下さい。

■今シーズンの状況（手足口病サーベイ）

週数	報告数	定点当り
43週	11	1.22
44週	18	2
45週	17	1.89
46週	37	4.11
47週	64	7.11

■手足口病患者報告数
（手足口病定点報告）
過去4シーズン